

よくあるご質問

Q ミニタンWGの溶かし方を教えてください。

薬剤調製するときは、バケツなどで十分に溶かしてから動力噴霧機のタンクに入れることをお勧めします。化学農薬との混用はできません。散布器具に殺菌剤等の薬液が残っている場合、ミニタンWGに悪影響を及ぼす可能性がありますので、**必ず散布器具を洗浄してください。**

(ミニタンWGの添加物が残ることがありますが、噴霧機のノズルが詰まることはありません)

Q 薬剤調製などで短時間常温に置くことはできますか？

ミニタンWGは生菌となり、高温(30℃以上)だと効果が不安定となる可能性があります。そのため安定した効果を発揮するためにも、薬剤調製時に常温に出したら速やかに調製し処理することをお勧めします。

Q ミニタンWG散布時に気を付けることはありますか？

圃場表面に均一に散布した後、速やかにロータリー等で土壌混和してください。

Q ミニタンWGがよく働く温度域を教えてください。

菌核病が活動する温度域とほぼ同じであり、およそ15℃～25℃です。高温(30℃以上)となる時期の散布は、ミニタンWGの効果が不安定となる可能性がありますので、お勧めできません。

Q ミニタンWGと石灰類との同時処理はできますか？

ミニタンWGが、石灰類に直接触れることは望ましくありません。石灰類を施用し、土壌混和をしたのちに処理するか、ミニタンWGを処理し土壌混和後に石灰類を施用してください。

Q ミニタンWGと石灰窒素との併用はできますか？

石灰窒素と近接する処理はお控えください。石灰窒素施用より前にミニタンWG処理する場合は、ミニタンWGを処理してから2週間あけて石灰窒素を施用してください。また、石灰窒素を先に施用する場合は、石灰窒素を施用してから2週間あけてミニタンWGの処理を行ってください。

Q ミニタンWGと化学農薬を併用する場合に気を付けることを教えてください。

ミニタンWGは生物農薬のため、殺菌剤、乳剤等の有機溶剤を含む薬剤および、酸性・アルカリ性を示す薬剤とは混用しないでください。特に土壌殺菌剤との併用時は、ミニタンWG使用後、最低2週間はあけることをお勧めします。

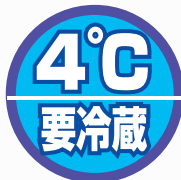
Q ガスくん蒸剤との併用はできますか？

バスアミドやクロールピクリン等のガスくん蒸剤はミニタンWGが死滅するため**使用できません。**

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。



菌核病防除への新提案!



農林水産省登録
第21970号

微生物殺菌剤

ミニタン®WG

前作すき込み時処理により、
菌核病を早期に退治!!

ミニタン®WGの特長

1 ユニークな生活環を持った
新タイプの生物農薬

菌核病菌の菌核にのみ寄生し、菌核を崩壊、
または生育を阻害します。

2 JAS法に適合

JAS法が定める有機農産物または特別栽培農産物にも
使用可能です。

3 連続施用で高い効果

菌核病の感染源(菌核)の密度を
減少させる効果があります。



ミニタン®WG 処理による菌核の崩壊

■ 菌核病の感染源を直接アタック

処理直後

処理2週間後

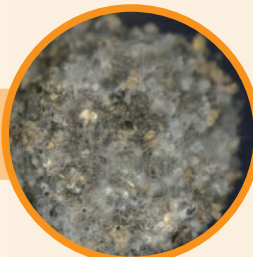
処理3ヶ月後

処理3~5ヶ月後

菌核病



ミニタン®WG が菌核に付着
(発芽準備)



ミニタン®WG が菌核に侵入



ミニタン®WG が菌核組織を攻撃



菌核が完全に崩壊

処理直後

処理2週間後

処理3ヶ月後

処理3~5ヶ月後

無処理



菌核は硬く、構造に
変化はない



菌核の外部、内部とも
変化はない



菌糸や子のう盤源基が
新生される



子のう盤が形成され、
胞子が飛散する